

令和元年度の取組結果及び令和2年度計画（地域包括ケア・在宅医療推進関係）

1 令和元年度の実施事業について

（1）県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議の開催

県西地区2市8町の行政担当者間の顔の見える関係の構築、情報共有・連携を目的として標記会議を開催した。

○第1回 令和元年7月9日（火）

内 容 ・平成30年度合同会議の結果概要
・令和元年度の取組について

○第2回 令和2年2月27日（木）書面会議

内 容 ・令和元年度の活動報告
・令和2年度の取組について

（2）研修、講演会の開催

市町単独での取組が困難な分野での研修や、地域包括ケアシステムの構築にあたって欠かせない地域住民の自助・互助への普及啓発を継続的に進めるための講演会等を開催。

○令和元年12月17日（火） 県小田原合同庁舎 <講演会>

講演 演題「いつまでも自分らしくこの地域で暮らしていくには～自立支援と介護予防を通じた支え合いのまちづくり～」

講師 神奈川県介護支援専門員協会 副理事長 松川 竜也（まつかわ たつや）氏

○令和元年12月6日（金） 県足柄上合同庁舎 <研修>

講演 演題「アンガーマネジメント～怒りと上手につきあう～」

講師 社会福祉法人 みずき福祉会理事長

一般社団法人日本アンガーマネジメント協会 阿部 美樹雄（あべ みきお）氏

2 県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会合同会議

個々の市町では解決が困難な課題への対応や、広域的に取り組むことが効果的な事業の検討、意見交換等を行い、県西地域の地域包括ケアシステムの推進に資することを目的に開催。

○令和2年3月25日（水）書面会議開催予定

内 容 ・令和元年度の活動報告
・令和2年度の取組について

3 令和2年度の取組（案）

1 情報の共有

* 行政担当者会議の開催

～2市8町の顔の見える関係づくりと情報共有

(ウ) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

2 研修、普及・啓発

* 市町単独での取組が困難な分野に特化し開催

～地域における医療と介護のあり方に関する講演、広域性・専門性が必要な分野に関する研修等

<テーマの例>

地域医療構想と地域包括ケア

口腔ケアや栄養・食生活対策

（市町からの要望に応じて決定）

(キ) 地域住民への普及啓発

(カ) 医療・介護関係者の研修

3 県西地区地域包括ケア会議・県西地区在宅医療推進協議会合同会議の開催

時期 2021年2～3月 予定

<<地域包括ケアシステムに関連する保健福祉事務所の事業等>>

- ・ 地域福祉関連事業（みんなのバリアフリー街づくり条例に基づく取組み等）
- ・ 歯科保健事業（地域口腔ケア連携の推進、歯と口腔の健康保持増進の取組等）
- ・ 栄養・食生活対策事業（関係機関と連携した介護予防のための低栄養対策等）
- ・ 介護保険指定事業者指導（介護保険法に基づくサービスの質確保のための指導等）
- ・ 難病対策事業（難病患者への支援体制整備のための協議会開催等）
- ・ 精神保健福祉事業（地域精神保健福祉対策を推進するための協議会開催等）
- ・ 認知症対策保健所事業（若年性認知症等の普及啓発、若年性認知症家族会等）

<様式1> 東西地区各市町に於ける地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

R2年度計画		R元年度実績	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、閉業等の事業所の確認をしてR2以上に訂正する。	新規開業、閉業等の事業所の確認をしてR2以上に訂正した。	新規開業、閉業等の事業所の確認をしてR2以上に訂正した。	新規開業、閉業等の事業所の確認をしてR2以上に訂正した。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて11月5日担当者会議6回 11月5日の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センターへの参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて11月5日担当者会議6回 11月5日の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センターへの参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて11月5日担当者会議6回 11月5日の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センターへの参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて11月5日担当者会議6回 11月5日の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センターへの参加 他機関で開催する研修会への参加
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地域連携推進委員会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護・グループホーム5回 入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携推進委員会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回 入所施設2回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携推進委員会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回 入所施設2回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携推進委員会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回 入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催 令和元年度同様業種別の集まりを目的の目標を持った会にして自主性を高める
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジャー連協会役員会 研修会 ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連協会役員会3回、懇親会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け処分センター（株）ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連協会役員会3回、懇親会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け処分センター（株）ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連協会への支援 OJ対策へ疾患の理解を深める OJ同士の研修を積み、情報交換や懇親会など ホームページの活用
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じた。10件	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じた。10件	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからどうする～辻野夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 後遺 利用者や信頼関係を築くホスピタリティ 峰谷英津子氏	7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからどうする～辻野夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 後遺 利用者や信頼関係を築くホスピタリティ 峰谷英津子氏	7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからどうする～辻野夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 後遺 利用者や信頼関係を築くホスピタリティ 峰谷英津子氏	年2回程度 集約会を入れて顔の見える関係づくり ディスカッションができるグループワークやワールドカフェなど
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
11月4日食べられなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日「上野千鶴子さんが語るおうちでひとり」で死ねますか 上野千鶴子氏	11月4日食べられなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日「上野千鶴子さんが語るおうちでひとり」で死ねますか 上野千鶴子氏	11月4日食べられなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日「上野千鶴子さんが語るおうちでひとり」で死ねますか 上野千鶴子氏	年2回程度予定 5月23日(土) 映画上映と監督講演「ほけますからよろしくお願ひいたします」
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
11月5日の担当者会議の開催 東西地区の会議に出席	11月5日の担当者会議の開催 東西地区の会議に出席	11月5日の担当者会議の開催 東西地区の会議に出席	11月5日の担当者会議の開催 東西地区の会議に出席
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
オレンジサポートナーが認知症地域支援アクションチームに参加し、農園づくりや講演会開催等に向け各グループ活動を行う。	オレンジサポートナーが認知症地域支援アクションチームに参加し、農園づくりや講演会開催等に向け各グループ活動を行った。	オレンジサポートナーが認知症地域支援アクションチームに参加し、農園づくりや講演会開催等に向け各グループ活動を行った。	オレンジサポートナー等の活動は令和元年度と同様に継続。介護予防サポートナー養成講座の開催を予定している。
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
運動・栄養・口腔機能を合わせた認知症予防教室を開催 介護予防サポート隊によるコグニティブ中心の介護予防体操教室を開催。	運動・栄養・口腔機能を合わせた認知症予防教室を開催 介護予防サポート隊によるコグニティブ中心の介護予防体操教室を開催した。	運動・栄養・口腔機能を合わせた認知症予防教室を開催 介護予防サポート隊によるコグニティブ中心の介護予防体操教室を開催した。	くもんを活用した認知症予防教室の開催。 介護予防サポート隊の活動は令和元年度と同様に継続。介護予防サポートナー養成講座の開催を予定している。
③その他	③その他	③その他	③その他

<様式1> 県西部地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

市町(松田町) 担当課(福祉課)	
R元年度計画	R2年度計画
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、閉業等の事業所の確認をしてR2以上に訂正する。	新規開業、閉業等の事業所の確認をしてR2以上に訂正する。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当委員会6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センターへの参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当委員会6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センターへの参加 他機関で開催する研修会への参加
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回、 入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回、 入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジャー連絡会役員会 研修会 ホームベージュの活用	あしがらケアマネジャー連絡会 10月23日午前整理・運品整理の現状付け処分センター(株) ジョウソウ ホームベージュの活用
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。10件
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからどうするか 辻哲夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月16日 後遺 利用者との信頼関係を築くホスピタリティ 峰谷英津子氏	7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからどうするか 辻哲夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月16日 後遺 利用者との信頼関係を築くホスピタリティ 峰谷英津子氏
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
11月4日 食べられなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日 「上野千鶴子さんが語るおうちでひとり死ねますか 上野千鶴子氏	11月4日 食べられなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日 「上野千鶴子さんが語るおうちでひとり死ねますか 上野千鶴子氏
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
1市5町の担当委員会開催の開催 県西部地区の会議に出席	1市5町の担当委員会開催の開催 県西部地区の会議に出席
認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況
・認知症サポーター養成講座→介護予防サポーターの任意団体がコグニサイズの実践指導を行う。受講者へ町民有志が作成した手作りロボのストラップを配布。有志と協働で紙芝居作成し、講座で活用。 ・認知症カフェ、ボランティアが発表(H31.4) →カフェ・夏休み子どもとどのつどい・家族のつどい協働開催。アルツハイマー月間イベント開催。町内散歩を企画運営。	・認知症サポーター養成講座→介護予防サポーターの任意団体がコグニサイズの実践指導を行う。受講者へ町民有志が作成した手作りロボのストラップを配布。有志と協働で紙芝居作成し、講座で活用。 ・認知症カフェ、ボランティアが発表(H31.4) →カフェ・夏休み子どもとどのつどい・家族のつどい協働開催。アルツハイマー月間イベント開催。町内散歩を企画運営。
②介護予防の取組	②介護予防の取組
・認知症認知低下予防教室(コグニサイズ) 3か月間全12回開催 ・上記教室終了後、自主グループへ移行。町内3箇所で開催、後方支援。	・認知症認知低下予防教室(コグニサイズ) 3か月間全12回開催 ・上記教室終了後、自主グループへ移行。町内3箇所で開催、後方支援。
③その他	③その他
・初期集中支援チーム員活動、サポーター区巡回訪問(月1回)実施。	・初期集中支援チーム員活動、サポーター区巡回訪問(月1回)実施。

＜様式1＞ 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

市町(中井町) 担当課(健康課)	
R元年度計画	R2年度計画
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、閉鎖等の事業所の確認をしてR1以上に訂正する。	新規開業、閉鎖等の事業所の確認をしてR2以上に訂正する。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加 PRCAサイト上に集った医療が出来るよう市町村と協働するため研究会を開催する。
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地域連携推進協議会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回、入所施設、訪問看護ステーションなど業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携推進協議会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム5回、入所施設3回、訪問看護ステーション1回など業種別の勉強会や情報交換の開催 令和元年度同業種別の集まりを目的目標を持った会にして自主性を高める
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジャー連絡会役員会 研修会 ホームベージの活用	あしがらケアマネジャー連絡会への支援 ①対象へ支援の理解を深める ②向士の研修を積む、情報交換や懇親会など ホームページの活用
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからどうする～辻哲夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 後遺 利用者と信頼関係を築くホスピタリティ 鎌谷英洋氏	年2回程度 懇親会を入れて顔の見える関係づくり フェイスブックなどでできるグループワークやワールドカフェなど
キ 地域住民への普及啓蒙	キ 地域住民への普及啓蒙
11月4日 食べられなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日 「上野千鶴子さんが語るおうちでひとりで死ねますか」 上野千鶴子氏	年2回程度予定 5月23日(土) 映画上映と監督講演「ほげますからよろしくお願ひいたします」
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
1市5町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席
認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況
・認知症サポーターの活動…認知症カフェでのボランティア活動(年6回) ・地域で活動しているボランティアを対象とした認知症サポーター講座の実施 ・転倒骨折予防体操指導員、町社協の生活支援サービス担い手	・認知症サポーターの養成(小学生、町職員、消防団、自治会など) ・ステップアップ講座の開催 → 認知症カフェ等でボランティア活動をする人を増やしていく。
②介護予防の取組	②介護予防の取組
・認知症予防運動教室「続けよう！コグニサイズ」の開催(月1回) ・コグニサイズ練習日の設定	・認知症予防運動教室「続けよう！コグニサイズ」の継続開催(月1回) ・新設参加者の募集、コグニサイズの活用
③その他	③その他

＜様式1＞ 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組（R1元年度実績とR2年度計画）
～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

R2年度計画		R1元年度実績	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
新規開業、閉鎖等の事業所の確認をして即上に訂正する。	新規開業、閉鎖等の事業所の確認をして即上に訂正する。	新規開業、閉鎖等の事業所の確認をして即上に訂正する。	新規開業、閉鎖等の事業所の確認をして即上に訂正する。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム、入所施設、訪問看護ステーションなど業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム、入所施設、訪問看護ステーションなど業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム、入所施設、訪問看護ステーションなど業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護5回、グループホーム、入所施設、訪問看護ステーションなど業種別の勉強会や情報交換の開催
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジャー連絡会役員会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け勉強会（株）ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連絡会役員会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け勉強会（株）ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連絡会役員会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け勉強会（株）ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連絡会役員会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け勉強会（株）ジョウソウ ホームページの活用
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからどうする～辻野氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 後遺 利用者と信頼関係を築くホスピタリティ 峰谷英津子氏	7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからどうする～辻野氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 後遺 利用者と信頼関係を築くホスピタリティ 峰谷英津子氏	7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからどうする～辻野氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 後遺 利用者と信頼関係を築くホスピタリティ 峰谷英津子氏	7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからどうする～辻野氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 後遺 利用者と信頼関係を築くホスピタリティ 峰谷英津子氏
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
11月4日食べられなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日「上野千鶴子さんが語るおうちでひとり死なせますか 上野千鶴子氏	11月4日食べられなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日「上野千鶴子さんが語るおうちでひとり死なせますか 上野千鶴子氏	11月4日食べられなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日「上野千鶴子さんが語るおうちでひとり死なせますか 上野千鶴子氏	11月4日食べられなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日「上野千鶴子さんが語るおうちでひとり死なせますか 上野千鶴子氏
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
1市5町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席 認知症施策の推進	1市5町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席 認知症施策の推進	1市5町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席 認知症施策の推進	1市5町の担当者会議の開催 県西地区の会議に出席 認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
・町内3箇所で行った介護予防教室を毎週開催（月・火・水・金） ・3.4.9.10月は地域住民ボランティア主体で実施。（他月は町主体でボランティアがスタッフとして参加） ・年間180回を開催予定（内約70回がボランティア主体） ・現在、ボランティアが約45名、利用者が約70名	・町内3箇所で行った介護予防教室を毎週開催（月・火・水・金） ・3.4.9.10月は地域住民ボランティア主体で実施。（他月は町主体でボランティアがスタッフとして参加） ・年間180回を開催予定（内約70回がボランティア主体） ・現在、ボランティアが約45名、利用者が約70名	・町内3箇所で行った介護予防教室を毎週開催（月・火・水・金） ・3.4.9.10月は地域住民ボランティア主体で実施。（他月は町主体でボランティアがスタッフとして参加） ・年間180回を開催予定（内約70回がボランティア主体） ・現在、ボランティアが約45名、利用者が約70名	・町内3箇所で行った介護予防教室を毎週開催（月・火・水・金） ・3.4.9.10月は地域住民ボランティア主体で実施。（他月は町主体でボランティアがスタッフとして参加） ・年間180回を開催予定（内約70回がボランティア主体） ・現在、ボランティアが約45名、利用者が約70名
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
・上記の介護予防教室において、午前は認知症を予防するためのアクティビティ（歌、ゲーム、手工芸等）、午後は転倒予防のための体操（一部業者委託）を実施。	・上記の介護予防教室において、午前は認知症を予防するためのアクティビティ（歌、ゲーム、手工芸等）、午後は転倒予防のための体操（一部業者委託）を実施。	・上記の介護予防教室において、午前は認知症を予防するためのアクティビティ（歌、ゲーム、手工芸等）、午後は転倒予防のための体操（一部業者委託）を実施。	・上記の介護予防教室において、午前は認知症を予防するためのアクティビティ（歌、ゲーム、手工芸等）、午後は転倒予防のための体操（一部業者委託）を実施。
③その他	③その他	③その他	③その他
・認知症カフェを1月に市内1箇所で開催。2月末に開催予定 ・認知症カフェグループ養成講座（住民向け）を12月に開催。集客を対象とした講座を2回開催。毎年開催している中卒5年生向け講座を2月下旬に開催予定	・認知症カフェを1月に市内1箇所で開催。2月末に開催予定 ・認知症カフェグループ養成講座（住民向け）を12月に開催。集客を対象とした講座を2回開催。毎年開催している中卒5年生向け講座を2月下旬に開催予定	・認知症カフェを1月に市内1箇所で開催。2月末に開催予定 ・認知症カフェグループ養成講座（住民向け）を12月に開催。集客を対象とした講座を2回開催。毎年開催している中卒5年生向け講座を2月下旬に開催予定	・認知症カフェを1月に市内1箇所で開催。2月末に開催予定 ・認知症カフェグループ養成講座（住民向け）を12月に開催。集客を対象とした講座を2回開催。毎年開催している中卒5年生向け講座を2月下旬に開催予定

市町(山北町) 担当課(保険健康課)

< 様式1 > 県西部地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)

～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

R元年度実績		R2年度計画	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護連携の推進
新規開業、閉鎖等の事業所の確認をしてIP上に訂正する。	新規開業、閉鎖等の事業所の確認をしてIP上に訂正する。	新規開業、閉鎖等の事業所の確認をしてIP上に訂正する。	新規開業、閉鎖等の事業所の確認をしてIP上に訂正する。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加	小田原保健福祉事務所足柄上センターも交えて1市5町担当者会議6回 1市5町の地域ケア会議等への出席 足柄上地区地域包括支援センター連絡会への参加 他機関で開催する研修会への参加 PUCAサイクルに集った政策が出来るよう市町村と協働するため研修会を開催する。
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護、グループホーム、入所施設、訪問看護ステーションなど業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護、グループホーム、入所施設、訪問看護ステーションなど業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護、グループホーム、入所施設、訪問看護ステーションなど業種別の勉強会や情報交換の開催	県立足柄上病院地域連携推進連絡会12回 訪問介護事業所・小規模多機能型居宅介護、グループホーム、入所施設、訪問看護ステーションなど業種別の勉強会や情報交換の開催 令和元年度同様業種別の集まりを目的目標を持ってた会にして自主性を高める
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
あしがらケアマネジャー連絡会役員会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け処分センター(株)ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連絡会役員会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け処分センター(株)ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連絡会役員会 10月23日生前整理・遺品整理の現状片付け処分センター(株)ジョウソウ ホームページの活用	あしがらケアマネジャー連絡会への支援 CA対策への意思の理解を深める CA同士の研修を積み、情報交換や懇親会などホームページの活用
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。	地域住民や事業所からの相談に対し、県立足柄上病院地域連携推進室や地域包括支援センター等と連携して相談に応じる。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからはどうする～辻智夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 接遇 利用者とは信頼関係を築くホスピタリティ 鎌谷英津子氏	7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからはどうする～辻智夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 接遇 利用者とは信頼関係を築くホスピタリティ 鎌谷英津子氏	7月23日 足柄上地域の地域包括ケアシステムへこれからはどうする～辻智夫氏 11月26日 新しい在宅医療の方向性 新田園夫氏 1月15日 接遇 利用者とは信頼関係を築くホスピタリティ 鎌谷英津子氏	年2回程度 懇親会を入れて顔の見える関係づくり フェイスカッションができるグループワークやワールドカフェなど
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
11月4日 来られなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日 「上野千鶴子さんが逝るおうちでひとり死ねますか 上野千鶴子氏	11月4日 来られなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日 「上野千鶴子さんが逝るおうちでひとり死ねますか 上野千鶴子氏	11月4日 来られなくなったらどうしますか 会田薫子氏 2月8日 「上野千鶴子さんが逝るおうちでひとり死ねますか 上野千鶴子氏	年2回程度予定 5月23日(土) 映画上映と監督講演「届けますからよろしくお願ひいたします」
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
1市5町の担当者会議の開催 県西部地区の会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 県西部地区の会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 県西部地区の会議に出席	1市5町の担当者会議の開催 県西部地区の会議に出席
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
認知症サポーター・ステッパーズ講座修了者のポランディングによる、認知症カフェへの協力(年6回)、認知症サポーター養成講座における寸劇の実施、町認知症施策についての意見交換	認知症サポーター・ステッパーズ講座修了者のポランディングによる、認知症カフェへの協力(年6回)、認知症サポーター養成講座における寸劇の実施、町認知症施策についての意見交換	認知症サポーター・ステッパーズ講座修了者のポランディングによる、認知症カフェへの協力(年6回)、認知症サポーター養成講座における寸劇の実施、町認知症施策についての意見交換	R1年度に引き続き、町認知症施策へ協力 認知症カフェの開催回数拡大と増回(月1回へ) 認知症ケアパス更新への協力
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
介護指導員への認知症研修 町内サロロンへ保健師が向いて認知症研修 体操サロロン、福祉部サロロンへ認知症研修 体操サロロン、福祉部サロロンへ認知症研修	介護指導員への認知症研修 町内サロロンへ保健師が向いて認知症研修 体操サロロン、福祉部サロロンへ認知症研修 体操サロロン、福祉部サロロンへ認知症研修	介護指導員への認知症研修 町内サロロンへ保健師が向いて認知症研修 体操サロロン、福祉部サロロンへ認知症研修 体操サロロン、福祉部サロロンへ認知症研修	町内サロロンへ保健師が向いて認知症研修 体操サロロン、福祉部サロロンへ認知症研修 体操サロロン、福祉部サロロンへ認知症研修 体操サロロン、福祉部サロロンへ認知症研修
③その他	③その他	③その他	③その他

＜様式1＞ 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)～包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について～

市町(箱根町) 担当課(福祉課)	
R元年度計画	R2年度計画
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
・ 地域包括支援センターの職員からの情報により社会資源の把握に努める。	・ 地域包括支援センターが介護サービス事業者の紹介用の共通フォーマットを作成し、利用者や比較検討しやすいようにした。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
・ 地域の医療・介護の関係団体が参画する会議として、医師、歯科医師、薬剤師、介護士、看護師等の代表者が出席する地域ケア会議を活用し、在宅医療・介護連携にかかわる課題の抽出を行っている。地域ケア会議は、年間5回開催し、地域ケア全体会議を年度末に1回開催する予定である。	・ 地域ケア会議 5回/年 ・ 地域ケア全体会議 1回/年 ・ 生活支援・介護予防体制推進協議会 3回/年 (ゴミ出し支援の対策等の拡充と買い物支援について検討)
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
・ 3師会、行政(一市三町)及びケアネットOHMYをメンバーとした「情報共有ツール作成検討会」の場で、情報共有のためのツールとしてFAXで情報をやり取りをするための様式(書式)を作成する。	・ 情報連携シート(案)ができたため、10月から12月まで限定期間による試行を実施した。 ・ 令和2年2月から3月にかけて、3師会及び居宅介護支援事業者等のケアマネージャーを対象に使用にかかわる説明会を実施
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
・ 町内の在宅医療・介護連携の相談窓口は、町保健師が担当するとともに、小田原医師会と連携し地域医療連携推進室において在宅医療に関する相談を受けていただくことで相談窓口の拡充を図る。	・ 町保健師担当の相談窓口の開設(常時) ・ 小田原医師会地域医療連携推進室での相談窓口の開設(常時)
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
・ 小田原医師会及び1市3町で「多職種連携共同研修」を年3回実施する。 テーマ「その人なりの自立支援を目指すケアケースカンファレンスとEIT」	・ 多職種共同研修を実施 3回/年
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
・ 地域包括支援センターを通じて、社会資源・ネットワーグをネットに投稿し、随時検索できるようにする。 ・ 介護や在宅医療に関する正しい知識の普及のため、家族介護教室等を開催する。	・ 社会資源・ネットワーグを一覧を、社会福祉協議会のホームページの地域包括支援センターに掲載。(10月～) ・ 家族介護教室の開催 6回/年
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
・ 県西地区地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会、県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議などを通じて連携を図る。	・ 県西地区地域包括ケア会議、県西地区在宅医療推進協議会、県西地区地域包括ケアシステム推進行政担当者会議などを通じて連携を図った。
認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況
・ 認知症サポーター養成講座を中学生を対象にして実施し、若い世代にも地域の見守り支援に参加してもらう。	・ 令和2年2月25日(火)に開催 ・ 箱根中学校 3年生全員
②介護予防の取組	②介護予防の取組
・ 「脳と体の若返り教室」を1コース開催する。(12回を1コース)	・ 「脳と体の若返り教室」を1コース開催。会場：二ノ平自治会館
③その他	③その他
・ 初期集中支援チーム員会議を小田原市・真鶴町・湯河原町・箱根町の一市三町の共同開催で実施する。(年6回)	・ 初期集中支援チーム員会議を小田原市・真鶴町・湯河原町・箱根町の一市三町の共同開催で行った。(年6回)

<様式1> 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績)とR2年度計画) ~包括的支援事業のうち、「在宅医療・介護連携の推進」及び「認知症施策の推進」について~

市町(真鶴町) 担当課(健康福祉課)	
R元年度実績	R2年度計画
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
・町直営の包括が中心になり町内や近隣の医療・介護サービスを提供し、リスト作成している。	・町内や近隣の医療・介護サービスの見直しを行い、リストの更新を行いたい。
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
・地域ケア会議では医療職や介護職だけでなく、消防や警察、民生委員や自治会長などの参加があり、グループワーク等を通して町の現状や課題等について検討している。	・現行の各種会議を利用し、町の現状や課題等について検討を継続する。
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
・町の医療機関に限られているため、広域での取り組みが必要。往診に関しては、医療機関に相談し状況に応じて個別に対応して頂いている。	・町の医療機関に限られているため、広域での取り組みが必要。往診に関しては、医療機関に相談し状況に応じて個別に対応して頂いている。
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
・独自のフェイスシート等を用いながら、電話や直接会って情報を伝え共有することが多く、今までの流れで大きな問題もなく行ってきました。平成30年度から在宅医療・介護連携ツール作成検討会を立ち上げた。話し合いを重ねて共通ツールを作成していく。	・3師会、ケアネットOHMY及び市3町共同で作成した、「在宅医療・介護連携ツール」の運用協力と支援を行う。
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
・平成28年度から小田原医師会地域医療連携推進室に「在宅医療に関する相談窓口」を設置し1市3町の医療機関に関する相談や往診、訪問診療に関する情報提供等をお願いしている。一般市民の相談に関しては、包括が中心になり対応している。	・平成28年度から小田原医師会地域医療連携推進室に「在宅医療に関する相談窓口」を設置し1市3町の医療機関に関する相談や往診、訪問診療に関する情報提供等をお願いしている。一般市民の相談に関しては、包括が中心になり対応している。
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
・平成27年度から小田原管内(1市3町合同)の多職種共同研修を実施している。町では、「地域ケア会議」や「地域と医療を考える会」において医療機関や介護事業所の研修会や順の見える関係づくりに努めている。	・多職種共同研修年3回実施予定 ・自立支援型個別ケア会議を御河原町と合同開催(年2回予定)
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
・広報の活用や町の事業やイベントにおいて在宅医療・介護サービスにおけるチラシ等を配布し周知していく。	・広報の活用や町の事業やイベントにおいて在宅医療・介護サービスにおけるチラシ等を配布し周知していく。
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
・小田原管内(1市3町)においては他市町の現状や取り組み等、情報交換を行い、共同で実施できる部分に関しては連携を図りながら進めている。広域(2市8町)に関しては、保健福祉事務所が実施している会議に参加し、取り組み状況や現状把握に努めている。	・小田原管内(1市3町)においては他市町の現状や取り組み等、情報交換を行い、共同で実施できる部分に関しては連携を図りながら進めている。広域(2市8町)に関しては、保健福祉事務所が実施している会議に参加し、取り組み状況や現状把握に努めている。
認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況
・認知症サポートチーム養成講座(毎年恒例となる、令和元年度は真鶴中学校3年生46名を対象に02/25に開催予定。平成29年度から「認知症をにまらしよう会」へ依頼 ・認知症ケアパスによる普及活動 ・認知症の介護者を支援することを目的に御河原町と共催で家族会を実施	・認知症サポートチーム養成講座 真鶴中学校3年生及び一般市民へ実施 ・地域サロンと共催で認知症ケアフェア実施
②介護予防の取組	②介護予防の取組
・運動や音楽などを組み合わせたプログラム(コグニサイズ等)を実施や音楽改善教室、口腔機能向上教室を開催するために月1回教室を開催 ・介護施設及び地域サロンへ出向き、口腔機能向上教室を開催予定	・運動や音楽などを組み合わせたプログラム(コグニサイズ等)を実施や音楽改善教室、口腔機能向上教室を開催 ・介護施設及び地域サロンへ出向き、口腔機能向上教室を開催
③その他	③その他
・住民主体で高齢者の見守りや介護予防を目的に町内4か所の地域サロンを実施。 ・まなびの協力隊「まなサボ」(有償ボランティア)を平成29年4月から開始し、専攻りや専攻き、趣味の交換等を実施。人員確保が課題のため、今年度は会員数を増やすことを目的にボランティア養成講座を検討	・住民主体で高齢者の見守りや介護予防を目的に町内4か所の地域サロンを実施。 ・まなびの協力隊「まなサボ」(有償ボランティア)を平成29年4月から開始し、専攻りや専攻き、趣味の交換等を実施。人員確保が課題のため、今年度は会員数を増やすことを目的にボランティア養成講座を検討

<様式1> 県西地区各市町における地域包括ケアシステムの取組(R元年度実績とR2年度計画)について

R元年度計画		R元年度実績	
在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進	在宅医療・介護連携の推進
ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握	ア 地域の医療・介護サービス資源の把握
既存の「医療・介護のサービスガイド」の令和元年度改訂版を作成する。	既存の「医療・介護のサービスガイド」を医療機関・事業所の情報変更や介護報酬改定等を踏まえ、年度内に改訂版を発行予定。	継続	継続
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
湯河原町在宅医療・介護連携会議及び地域ケア会議を開催して、地域課題の抽出等について検討する。	町と三師会、病院関係者、ケアマネジャー、介護事業者、施設関係者等で構成する湯河原町在宅医療・介護連携会議を開催し、課題の抽出、ア〜クの事業について検討している。	継続	継続
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進
医療の入口のソーシャルワーカーと町で定期的に打ち合わせを実施する。	医療の入口のソーシャルワーカーと町で定期的に打ち合わせを行っている。	交流会を継続予定	交流会を継続予定
エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
ケアマネと訪問介護が情報共有するためのシート作りを支援する。その他、広域で医療・介護の連携シートを作成する。	ケアマネと訪問介護が情報共有するためのシート作りを支援。その他、広域で医療・介護の連携シートを作成。	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援	エ 医療・介護関係者の情報共有の支援
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援
平成28年度から小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療に関する相談窓口」を設置し、介護事業所等からの相談に対応をお願いしている。隔月で地域包括支援センターの保健師等が地域会館を回り、地域住民の相談に応じる。	平成28年度から小田原医師会地域医療連携室に「在宅医療に関する相談窓口」を設置し、介護事業所等からの相談に対応をお願いしている。隔月で地域包括支援センターの保健師等が地域会館を回り、地域住民の相談に応じている。	継続	継続
カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修	カ 医療・介護関係者の研修
平成27年度から小田原管内(1市3町合同)の多職種共同研修を年3回実施している。令和元年度から湯河原町単独の多職種共同研修を年2回実施している。	平成27年度から小田原管内(1市3町合同)の多職種共同研修を年3回実施している。令和元年度から湯河原町単独の多職種共同研修を年2回実施している。	継続	継続
キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発	キ 地域住民への普及啓発
令和元年度第2回医療・介護公開講座を開催する。	イの湯河原町在宅医療・介護連携会議と令和元年11月に令和元年度第2回医療・介護公開講座「介護保険ってなに?湯河原町の介護サービス」を開催した。	継続予定。テーマについては未定。	継続予定。テーマについては未定。
ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	ク 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携
小田原管内(1市3町)においては、必要時に情報交換を行う。広域(2市8町)に関しては、小田原保健福祉事務所が実施する会議に参加し、取組状況や現状把握に努める。	小田原管内(1市3町)においては、必要時に情報交換を行っている。広域(2市8町)に関しては、小田原保健福祉事務所が実施している会議に参加し、取組状況や現状把握に努めている。	継続	継続
認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進	認知症施策の推進
①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況	①住民活動の状況
ハーモニカフェ(認知症カフェ)を1回開催する。	ハーモニカフェ(認知症カフェ)を1回開催している。	継続実施予定	継続実施予定
②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組	②介護予防の取組
介護予防サポーター養成、頭の体操教室を実施する。	介護予防サポーター養成、頭の体操教室を毎年実施している。	継続	継続
③その他	③その他	③その他	③その他
認知症サポーター養成講座を、住民と接する機会が多い企業や中学校3年生を対象に実施する。	認知症サポーター養成講座を、住民と接する機会が多い企業等や平成27年度からは中学校3年生を対象に実施している。	継続	継続
1ゆがわら・まなつる家族会」を年6回実施している。	1ゆがわら・まなつる家族会」を年6回実施している。	認知症サポーター等スキルアップ研修を実施予定	認知症サポーター等スキルアップ研修を実施予定
認知症ケアパス、認知症チェックリストを一本化した形で作成する。	認知症ケアパス、認知症チェックリストを一本化した形で作成する。		